

# きみつ市議会 だより

# 156号

令和6年5月1日発行

## CONTENTS

- 2 第1回定例会のあらまし
- 4 議案の審議結果
- 5 一般質問Q&A  
(代表質問、個人質問)
- 10 委員会の焦点
- 12 予算審査特別委員会の概要
- 15 先進地リポート  
(行政視察研修報告)



## 第1回定例会

発行／君津市議会  
編集／きみつ市議会だより  
編集委員会



## 久留里城址資料館入館者100万人達成記念植樹



君津市  
マスコットキャラクター  
きみぴん

君津市の歴史・民俗などの資料や久留里城に関する資料を保管、展示している久留里城址資料館が昭和54年の開館以来、入館者100万人を達成したことを記念し、令和6年3月27日に桜の植樹が行われました。

植樹には石井市長、粕谷教育長とともに市議会からは小倉靖幸議長、三浦章議員が出席しました。

※令和5年に発生した地震により、天守閣の屋根上にある鯰瓦が破損・落下したため、当面の期間、天守閣内部への立入りは禁止されています。

# 第1回定例会のあらまし

主な日程

## 第1回定例会（2～3月）

2/15(木)	本会議（招集日） 会期の決定、市長の施政方針、議案の上程など 総務常任委員会
16(金)	建設経済常任委員会 教育福祉常任委員会
26(月)	本会議 委員長報告、質疑、討論、採決
3/4(月)	本会議 一般質問
5(火)	
6(水)	本会議 一般質問、予算審査特別委員会の設置
7(木)	総務常任委員会
8(金)	教育福祉常任委員会
11(月)	建設経済常任委員会
13(水)	
14(木)	予算審査特別委員会
15(金)	
22(金)	本会議（最終日） 委員長報告、質疑、討論、採決、追加議案の審議など

## 令和6年度一般会計予算など 議案28件を議決

第1回定例会は、2月15日から3月22日までの37日間の会期で開かれ、定例会の冒頭に市長から令和6年度の施政方針演説がありました。

今定例会では、令和6年度君津市一般会計予算など市長提出の27議案、議員提出の1議案を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、各会派の代表質問と個人質問が行われ、代表質問では4会派10人が、個人質問では7人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

### 反対

## 本会議における主な討論

### 賛成

保険料率が引き上げられるが、社会保障の充実・拡充は国庫負担割合を増額して責任を果たすべきと考えることから賛成できない。

「子育て」「教育」「住まい」に関する取組を重点的に行うものとしているものの、第3子のみ学校給食費を無料にし、多くの児童生徒は有料のままであることから賛成できない。

滞納者に対し、短期被保険者証、資格証明書が発行されていることや、他の社会保険にはない均等割は廃止し、国保税を引き下げべきと考えることから賛成できない。

### 議案第15号

#### 君津市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

介護給付費が増加する中で、持続可能な介護サービスを提供するためには介護保険料の引上げはやむを得ないものであると考える。

また、引き上げの中で、低所得者への配慮や高所得者の負担能力に応じた段階設定がなされており、柔軟な運用が図られているものと理解する。

### 議案第22号

#### 令和6年度君津市一般会計予算

すべての児童生徒を対象にした学校給食費の無償化は、現時点では、財源確保等の観点から、実施困難なことは理解するところである。

### 議案第23号

#### 令和6年度君津市国民健康保険特別会計予算

滞納者に対する短期被保険者証や資格証明書の発行については、負担の公平性の観点から、適正な運用がなされているものと理解する。

令和  
5年度

# 一般会計補正予算

今定例会では、君津市一般会計補正予算（第8号）に係る議案の審議を行いました。  
主な事業は以下のとおりです。

## 議案第7号 補正予算（第8号）

### 国の総合経済対策（令和5年度予備費分）に伴う事業

#### 低所得世帯物価高騰対応重点支援 給付金給付事業

3億2,117万5千円

個人住民税均等割のみ課税される世帯に1世帯あたり10万円を給付します。また、低所得世帯に属する18歳以下の子ども1人あたり5万円を加算して給付します。



#### 市民税賦課事務費

733万7千円

令和6年度に定額減税を実施するため、個人住民税システムを改修します。



### 国の補正予算に伴う事業

補助金の追加交付を受け、令和6年度に予定していた事業を前倒しで計上します。

#### 神門地区道路 拡幅事業

1,610万円

神門地区の道路拡幅に係る測量及び設計業務を行います。

#### 橋梁長寿命化事業

8,748万9千円

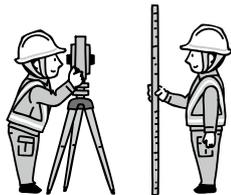
旧小糸橋の撤去工事を行います。



#### 道路新設改良工事 大手内後楽線道路改良（浦田地先）

1,470万円

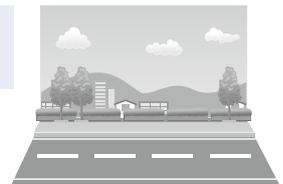
大手内後楽線の測量及び設計業務を行います。



#### 歩道整備事業 8号環線 （大山野～小山野地先）

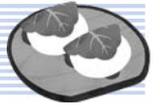
760万円

市道8号環線の歩道整備について測量業務を行います。



人事案件に同意

◆教育長 粕谷 哲也（木更津市）



出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	教育長の任命について	議案第13号	君津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	議案第14号	君津市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	君津市勤労者総合福祉センター及び君津緩衝緑地（西君津）の指定管理者の指定について	議案第16号	君津市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	（仮称）君津市立貞元保育園新築工事請負変更契約の締結について	議案第17号	君津市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	（仮称）君津市立貞元保育園新築電気設備工事請負変更契約の締結について	議案第18号	君津市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例及び君津市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	君津市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第19号	君津市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第7号	令和5年度君津市一般会計補正予算（第8号）	議案第20号	川俣大橋橋梁補修工事請負契約の締結について
議案第8号	令和5年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	議案第21号	市道路線の認定について
議案第9号	令和5年度君津市介護保険特別会計補正予算（第3号）	議案第26号	令和6年度君津市農業集落排水事業会計予算
議案第10号	令和5年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	議案第27号	君津市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第11号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		
議案第12号	君津市保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		

◆議員提出議案

議案番号	件名
発議案第1号	専決事項の指定について

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	令和新政					創政会					きみつ未来	公明党	進	進派							
			小倉靖幸	小倉広紀	大和ヒロシ	天笠等	鶴岡一成	奈良輪政五	三浦章	大滝浩介	四宮安彦	鈴木高大	下田剣吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	満武琢也	石上壘	松本裕次郎	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	三浦道雄
議案第15号	君津市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第22号	令和6年度君津市一般会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第23号	令和6年度君津市国民健康保険特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第24号	令和6年度君津市介護保険特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第25号	令和6年度君津市後期高齢者医療特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対



# 市政を問う!

## 一般質問

# Q & A

第1回定例会において、代表質問では関連質問を含め4会派10人が、個人質問では7人が質問を行いました。

各議員の質問の大綱については下記のとおりです。

マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。

なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

### 代表質問

#### 令和新政

P.6

奈良輪 政五 議員

- ・施政方針について
- ・ファシリティマネジメントについて
- ・公共交通について
- ・教育行政について
- ・農業政策について

関連質問 天笠 等 議員  
小倉 広紀 議員

#### きみつ未来

P.7

松本 裕次郎 議員

- ・経済と環境が調和したまちについて
- ・誰もがいきいきと生活できる地域共生のまちについて
- ・安心して子育て・子育てでき喜びを楽しめるまちについて
- ・快適で安心して暮らせるまちについて
- ・ともに創る次世代につながるまちについて

関連質問 石上 壘 議員

#### 公明党

P.7

野上 慎治 議員

- ・住みやすく住み続けられる地域共生社会の構築について
- ・子どもや若者の視点に立ったまちづくりについて
- ・活力あるまちづくりについて
- ・教育環境の充実について
- ・安心・安全のまちづくり推進について

関連質問 高橋 健治 議員  
佐藤 葉子 議員

#### 創政会

P.6

保坂 好一 議員

- ・経済と環境が調和したまち(経済・環境)
- ・誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち(健康・福祉)
- ・安心して子育て・子育てでき喜びを楽しめるまち(子育て・教育・文化)
- ・快適で安心して暮らせるまち(安全安心・都市基盤)
- ・ともに創る次世代につながるまち(パートナーシップ・人権・行財政)

関連質問 鈴木 高大 議員

#### 三浦 道雄 議員

P.8

諸派・日本共産党

- ・市長の政治姿勢について
- ・医療・福祉行政について
- ・教育行政について
- ・環境行政について

#### 大滝 浩介 議員

P.9

創政会

- ・誰もが安心して暮らせるまち「きみつ」
- ・まちを元気にするための取組について
- ・子育てが日本一楽しいと思えるまち「きみつ」
- ・持続可能な公共交通を目指して

### 個人質問

#### 大和 ヒロシ 議員

P.8

令和新政

- ・快適で安心して暮らせるまちについて
- ・有害鳥獣対策について
- ・スポーツを通じた交流による地域活性化について
- ・地域経済の活性化について
- ・ともに創る次世代につながるまちについて

#### 鶴岡 一成 議員

P.8

令和新政

- ・行政運営について
- ・安全安心のまちづくりについて
- ・未来を担う子どものために

#### 下田 剣吾 議員

P.9

創政会

- ・施政方針について

#### 四宮 安彦 議員

P.9

創政会

- ・地域資源を生かした施策の展開について
- ・行財政マネジメントについて
- ・持続可能な公共交通体系の構築について

#### 林 祥子 議員

P.10

諸派・希望にみらい

- ・市内の産業廃棄物処分場について
- ・安心安全な食の取組について
- ・薬害がおきている新型コロナワクチンについて



令和新政

奈良輪 政五 議員

シティプロモーションの推進

Q 多様なメディアの特徴を戦略的に活用し、情報発信と市民それぞれの価値観や視点を活かした魅力発信を組み合わせて取り組むとあるが、どのように進めていくか伺う。

A 地域資産を磨き、新たな価値を創造し市内外に発信することで、「君津に住んでよかった、住みたい」という方を増やし、本市へ人や物、財などの流れを生みだしていく。また、「子育て」「教育」「住まい」をパッケージ化し、本市ならではのストーリー性を持たせることで、魅力の向上に努めていく。

子育て支援

Q 君津の子育てを実感できる環境づくりをどのように推進していくのか伺う。

A みふねの里保育園においては、保育のセーフティネットとして、多様なニーズへの対応を図るとともに、併設する子育て支援センターでは、気軽に子どもと一緒に過ごせる場を提供するなど、安心して子育てできる環境づくりを推進していく。また、子ども施策全般の実効性をよ

り強化するため、こども計画を策定し、全力で取り組んでいく。

農業振興

Q 農業従事者の高齢化や担い手不足などが問題となっている中、今後どのような方向で農業の振興を進めていくのか伺う。

A 令和5年度から、国の施策である地域計画の策定作業を行っており、10年後を見据えた担い手や農地のあり方などについて、市内各地区の農業関係者と話し合いを進めている。引き続き、農業振興計画に基づき、多様な担い手が活躍できる環境の整備等に向け取り組んでいく。



創政会

保坂 好一 議員

安心して子育て・子育てできる学びを楽しめるまち

Q 小中学校の学力・体力調査の結果について、県平均値に対してどうだったか伺う。また、あらゆる面から考察したときに、今後の課題は何か伺う。

A 令和5年度実施の全国学力・学習状況調査の結果、県平均と比較し、教科を問わず記述式で解答する設問に対する正答率が低いことが分かった。今後は、市独自に学力把握として行っている「きみつ学び調べ」の結果を基に、基礎学力のさらなる定着を図っていく。体力面では令和5年度の千葉県体力運動能力調査から、小学校では約6割、中学校では約9割が県平均を上回る結果となっている。

周西南中で起きた学校納入金の着服と今後

Q 令和5年3月に周西南中で起きた着服事件に関し、現在の返済状況や今後の動き、各学校の預り金の管理について伺う。

A 国家賠償法に基づき、着服行為を行った元職員に対し、損害賠

償請求をされており、月々の返済を確認している。学校徴収金については学期ごとの検査を学校だけではなく教育委員会も実施し、年度末には保護者による監査を実施するなど、チェック体制の強化を図っている。

Q 着服行為をした元職員への告訴は怎么样了のか、また民事訴訟は行っているのか。

A 昨年5月18日警察に被害届を提出し受理された。元職員からは定期的な返済が確認できているところであり、民事訴訟については必要に応じて検討する。

Q これまでの返済金額の合計について伺う。

A 現在のところ12万円である。

Q 当時の管理監督責任を問われると思うが、その方々に対し損害賠償請求をしているか伺う。

A 当時の管理監督職員に対する求償は行っていない。

関連質問 鈴木 高大 議員



▼地域農林業の現状と課題について



きみつ未来  
松本 裕次郎 議員

君津インターチェンジ周辺の  
土地活用

**Q** どのような事業者と協議を行うか伺う。

**A** 地元団体や大学教授などを招いた懇話会を設置して、未来を見据えた新たな産業の受け皿づくりに向けて検討している。また、インターチェンジ周辺の開発を手がけた実績のある企業等と協議を重ねている。

児童発達支援センター

**Q** みふねの里保育園との連携でどのような効果があるのか、また、貞元仮運動場はどうなるのか伺う。

**A** 発達支援など配慮が必要な児童や医療的ケア児への対応を強化し、多様性のある保育環境の充実を目指す。貞元仮運動場については、全体を一体的に有効活用し、子育て、福祉等の施策の展開に向け取り組む。

学校再編

**Q** 学校再編第3次実施プログラム  
の検討が終了となったが、今後  
どのようなことを行っていくのか、  
また、小中学校の特別教室へのエア

コン設置状況について伺う。

**A** 引き続き、社会情勢の変化や児童生徒数の推移、教育制度の改定等を注視しつつ、各学校の状況把握に努め、教育環境を整備していく。特別教室へのエアコン設置については、中学校は令和6年度中、小学校は令和7年度の早期に設置できるよう進めている。

内みのわ運動公園

**Q** 民間活力を導入した内みのわ運動公園のリニューアルについて、現在の進捗よく状況を伺う。

**A** 公募に向けたサウンディング型市場調査を実施した。令和6年度は、調査で得た様々なアイデアや事業手法等を活かした整備を進めるため、公募による事業者の選定を行う。一日を楽しく過ごせる身近なコミュニティションの場となるようリニューアルに取り組んでいく。



関連質問 石上 壘 議員

▼行財政マネジメントについて

▼防災体制について  
▼拠点複合施設「おらがわ」について  
▼本庁舎について



公明党  
野上 慎治 議員

「地域共生社会」の構築を！

**Q** 地域の担い手をどのように結び付けていくのか。また、相談窓口をどこにどのように設置するかなど地域共生社会実現のための具体的な構想について伺う。

**A** 本市が設置する「生活自立センターきみつ」に各窓口の総合調整機能を設けるなど包括的相談支援体制のさらなる整備を進める。また、地域の担い手を含めた各関係者や関係団体が円滑に支援を実施できるような連携機能の強化を図る。

**Q** 鳥根県松江市のように地域づくりの拠点として公民館を位置づけ施策を展開することが必要と考える。松江市の公民館には、自治会・老人クラブ・消防分団などの事務局があり、公民館長が地区社協の事務局長を兼務し職員が一丸となって地域福祉活動を支えている。地域共生社会の構築は、部を超えた連携や他団体との連携が必要であり、副市長をトップとするようなプロジェクトチームが必要と考えるが見解を伺う。

**A** 庁内だけでなく社会福祉協議会や各相談支援機関、地域団体、

民間事業者などとの連携強化を図る。

ユニバーサル就労の推進を！

**Q** ユニバーサル就労は、高齢者や障がい者などの就労を促進させる取組である。本市でも取り組んではいかかが。見解を伺う。

**A** 必要な取組であると認識している。福祉部門との連携の強化を推進する。

本市の防災アプリの周知を！

**Q** 防災アプリの機能や市民への周知について伺う。

**A** 機能としては、避難所の混雑状況を地図上に表示し、空いている避難所への誘導を図り、円滑な避難を実現しようとするもので、多くの市民に活用していただけるよう周知する。



関連質問 高橋 健治 議員

▼地域計画について  
▼第5次君津市地球温暖化対策実行計画について



関連質問 佐藤 葉子 議員

▼学校給食に使用する工  
▼コメについて  
▼観光資源を活かす取組について



令和新政  
やまと  
**大和 ヒロシ** 議員

**災害用の備蓄、なにがある?どこにある?**

**Q** 元日に発生した能登半島地震や、遠くない将来に発生が懸念される南海トラフ地震など、巨大地震等の自然災害による被害を危惧されている方も少なくないと思われるが、本市が備蓄している物品、備蓄状況、周知について伺う。

**A** 主な備蓄品は、飲料水や食料、毛布、発電機などであり、君津中央公園や久留里スポーツ広場のほか、避難所となる市立小中学校などに設置している備蓄倉庫に保管している。これらの倉庫の場所は、地域防災計画の資料編や防災ハンドブックに掲載している。

**ネット上の誹謗中傷や人権侵害に対策を!**

**Q** ネット上での誹謗中傷やプライバシーの侵害等の問題に対し、条例を制定し、人権侵害の防止や被害者の支援を明確にしている自治体もあるが、本市はどのように対応するのか。また、小中学校における対応状況を伺う。

**A** 現在、インターネット上における人権侵害等の相談はないが、市民から相談を受けた場合には、必要に応じて法律相談や国・県などの相談窓口へ案内するなど、被害者の方に寄り添った支援を進める。また、市内の小中学生を対象に、インターネットやSNSの危険性や正しい知識について学ぶネット安全教室を実施するなど、今後もインターネットリテラシーに関する周知啓発に努めていく。



諸派・日本共産党  
みづら  
**三浦 道雄** 議員

**市長の政治姿勢**

**Q** 何としても実行しようとする施策は何か伺う。

**A** 施政方針に掲げた子育て、教育、住まいに資する重点取組を着実に実行していく。

**JR久留里線存廃問題**

**Q** 生活の向上につながる交通手段が確保されるよう引き続き丁寧な議論を進めるとは具体的にどのようなことが伺う。

**A** 地域の方が移動の際に困ることのないよう、地域にとってよりよい交通がどういったものか、県とも連携し、引き続き丁寧に議論していく。

**社会保障制度の拡充**

**Q** 介護保険料の引上げについての認識を伺う。

**A** 高齢化の進展に伴い、給付費の増加が見込まれるため、令和6年度に65歳以上の第1号被保険者保険料を改定する予定である。

**早期の学校給食の完全無償化**

**Q** 憲法の規定を踏まえれば、早期の学校給食費の完全無償化が求められると思うが、見解を伺う。

**A** 憲法26条の義務教育無償規定は、授業料不徴収の意味との解釈が通例とされ、学校給食法では、食材料費は保護者負担とされている。新たな支援策等の情報収集に努め、引き続き検討していく。



令和新政  
つるおか  
**鶴岡 一成** 議員

**小櫃川の氾濫防止対策**

**Q** 小櫃川は大雨が降るたびに氾濫して小櫃地区や久留里地区の住民の生命や財産を脅かしているが、県に対してどのような要望を行ってきたのか伺う。

**A** 河川内の堆積土砂や支障木の撤去などの要望をしている。これを受け、県は河道掘削や竹木伐採を行うとともに、亀山ダムの事前放流による洪水調整や河川監視カメラ等の設置も行っている。

**子どもの視力低下**

**Q** 本市において視力の低い子どもの割合はどの程度なのか、また学校で対策は取られているのか伺う。

**A** 視力1・0未満の児童、生徒の割合は小学生が24・9%、中学生が43・7%である。各学校にてタブレット利用時の姿勢や目の休憩の仕方を指導している。併せて保護者への啓発もしている。

**上総地域の公園整備**

**Q** 学校が統廃合されグラウンドが使用できない状況だが、今後公園設立の計画はあるか伺う。

**A** 上総地区には市立公園が7ヶ所、農村公園が6ヶ所あり、新たな公園を整備する予定はないが、公園が安全で快適に利用できるよう維持管理を行うとともに、遊具など公園施設の改善を検討する。

創政会  
四宮 しみや安彦 やすひこ  
議員

## 行財政マネジメント

**Q** 総務大臣通知により、統一的な基準による財務書類等の作成と積極的な活用が求められているが、本市の財務書類等の活用状況を伺う。

**A** 地方公会計制度に基づく財務書類については、予算編成時などに効果的な活用ができるように努め、「地方公共団体の説明責任の履行」と「財政の効率化・適正化」に取り組んでいく。なお、統一的な基準は難解であり、活用については全国的にも低水準にとどまっている。

## JR久留里線

**Q** JR久留里線は大きな赤字となつているが、本市は何らかの補填を行っているか伺う。

**A** 直接的な赤字補填はしていない。

**Q** 不採算バス路線会社に対して年間7,000万円の補助を行っているのに、JRに対して補助金を交付しないのはなぜか伺う。

**A** 補助金については、公益上の必要性を認めた場合に交付でき、公金であることに鑑み、行政目的を達成する上で最も効率的な手法であることが前提と考える。

**Q** 交渉力向上のために、JR東日本の株式取得がよいと思うが、見解を伺う。

**A** 株式取得は価格変動のリスクが伴うことから、慎重にならざるを得ない。株主という立場でなくとも沿線自治体として関与しており、直接考えを伝えることができる状況にある。

創政会  
大滝 おおたき浩介 こうすけ  
議員

## 八重原地区小学校の施設整備

**Q** 南子安小では教室数がひつ迫しており、北子安小では修繕が必要な箇所等があるが、今後の施設整備について伺う。

**A** 令和4年度に行った学校施設の総点検により判明した不具合箇所は、優先順位を決め順次取り組んでいる。南子安小は、教室の確保やプレハブ教室棟の解体等の方策を検討。北子安小は、雨漏り箇所を特定する調査を行い、補修方法を検討する。

## 潜在保育士

**Q** 潜在保育士の再就職に向けた支援の検討について、進ちよく状況を伺う。

**A** 潜在保育士の再就職促進のため、民間保育施設に対し保育補助者の雇い上げに必要な費用の一部補助を行い、保育士の業務負担の軽減や離職防止につなげていく。

## 免許返納しやすいまちの実現

**Q** 運転免許を自主返納しやすい環境整備、また公共交通の利便性向上のための環境整備の取組について伺う。

**A** 高齢者運転免許証自主返納支援事業の周知に努める。また、バス事業者等と連携し停留所の位置などニーズに合った待合環境の充実を図るよう、機能拡充するバス停の優先順位、整備内容の検討を行う。

創政会  
下田 しもた剣吾 けんご  
議員

## 敬老祝金廃止と定年前退職の職員百人超

**Q** 敬老祝金廃止に市民の強い反発がある。その事業費を伺う。また石井市長が就任してからこれまでに、定年前に退職した市職員の数を伺う。

**A** 敬老祝金は令和4年度実績で約1,470万円、令和5年度は約1,560万円の見込み。市長に就任してから定年前に退職した人数は2月末時点で102人、今後退職を予定している職員は10人で、市長就任前の同期間とほぼ同数である。  
**Q** 敬老祝金の廃止に賛成したのは、高齢者の交通支援や福祉サービス充実などを図っていくとの説明があったからだ。廃止された1,500万円のうち、上乘せや新事業が盛り込まれたか伺う。

**A** 敬老祝金の廃止に代わる特定の予算はつけていない。

**Q** 福祉サービスの充実に代わるのであれば、廃止はやむを得ないと賛成したが、それが反映されていないのはひどいことだ。また、900人規模の組織で過去5年間の間に112人が辞めるのは重大な問題だと考えるが、その認識があるか伺う。

**A** 影響がないように、市としては対応している。

**Q** 係長や課長級もいる。育成には時間も税金もかかっているため防ぐべきだ。ハラスメント防止と、平成31年3月に提案した介護等で退職した職員が戻るの制度を導入すべきだが見解を伺う。

**A** カムバック採用の早期導入を検討する。またフレックスタイム制度の導入も検討する。



諸派・希望にみらい  
林 祥子 議員  
はやし さちこ

市内の産業廃棄物処分場

**Q** 2月13日に始まった、第1期処分場の改善工事の際に掘削した廃棄物はどこに保管しているか伺う。

**A** 廃棄物については、第3の2の1の処分場に移動されたことを確認している。

**Q** 市は独自に立ち入りをして、排水を検査できるのか。また、事業者と環境保全協定を結んでいるか伺う。

**A** 市の職員単独でも水道水源条例に基づいて確認は行えるという状況にある。市から同社に対し、環境保全協定の締結を求め要請は行っており、その後、許可の条件は更新されていて、最新のものは、そのような許可条件はない。

薬害がおきている新型コロナワクチン

**Q** 大手マスコミでも、急増する新型コロナワクチン健康被害、国が調査をという記事が出ています。また子宮頸がんワクチンでも2013年4月に小学6年生から高校1年生を対象に定期接種としたが、健康被害の訴えが相次ぎ2か月後に中止した経緯があった。予防接種健康被害救済制度に係る申請件数と認定件数を伺う。

**A** 新型コロナワクチン接種における予防接種健康被害救済制度の申請・認定件数は2月19日時点、国は申請10,273件、認定6,276件、市は申請8件、認定2件である。

# 委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案をそれぞれ審査しました。審査概要は次のとおりです。

※議案名は、議案の審議結果(4ページ)を参照してください。

## 総務常任委員会



下田剣吾委員長

審査案件(議案第2号、議案第7号、議案第8号、議案第10号、議案第11号)

### 手数料徴収条例の改正

議案第2号

**(内容)** 法改正に伴い、手数料を新たに定めるとともに、一部手数料の額を改定するほか、条例の規定を整理するもの。

**問** 戸籍証明書等の広域交付制度について伺う。

**答** 令和6年3月1日から、本籍地以外の窓口でも、本人、配偶者、直系尊属、直系卑属の戸籍証明書等を請求できるようになるほか、届出時における戸籍証明書の添付が原則不要となるものである。(全会一致で可決すべきものと決定)

### 事業費減額の理由

議案第7号(補正予算)

**問** 「庁内情報系整備運営事業」、「清

和地区拠点施設整備事業」、「情報発信施設等維持管理事業」の執行方法の見直しの内容について伺う。

**答** チャットツール等を他の自治体と共同で調達し価格を抑えたこと。コクヨ株式会社との覚書により納入された備品を、実証実験終了後に中古価格で買い取るとしたこと。防災無線の戸別受信機の設置について、デジタル波の受信機に加え、アナログ波の受信機を利用することとした。(全会一致で可決すべきものと決定)



### 会計年度任用職員の勤勉手当の支給・期末手当の見直し

議案第11号

**(内容)** 会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給及び期末手当の支給月数を正規職員と同様にするもの。

**問** 条例改正による影響額を伺う。

**答** フルタイム事務職で、一人あたり年間約34万円の増額、一般会計全体としては、8,700万円の増額を見込んでいる。

**問** 人事評価の活用について伺う。

**答** 会計年度任用職員も人事評価を実施しているが、勤勉手当の支給を踏まえ、内容を検討する必要がある。(全会一致で可決すべきものと決定)

## 教育福祉常任委員会



高橋健治委員長

審査案件（議案第4号から議案第7号、議案第9号、議案第12号から議案第18号）

### 議案第4号

#### みふねの里保育園新築工事にかかる契約期間の延長

（内容）園舎外周部の木製建具の調達に不測の日数を要することから、工事期間を延長するもの。

**問** 木製建具以外の資材の調達状況について伺う。

**答** 木製建具以外の資材については、スケジュール通りの納入が予定されている。

**問** 木製建具の発注に関する経過について伺う。

**答** 当該建具はオーダーメイドであり、図面の確認等により、要求水準を満たさないことが令和5年6月ごろに判明し、検討・協議を行い、順次発注したが、期日までに予定数が用意できず、工程の組みかえ等の調整を行ったものの、当初の工期では間に合わないとの報告を12月15日に受けたものである。

**問** 分散発注した建具の性能評価について伺う。

**答** 第三者機関により、JIS規格に準拠している旨の成績証明を確認している。

**賛成討論** 本市の目玉ともいえる保育園であることから、適正な品質管理のもとに建物が引き渡されることを望む。

（全会一致で可決すべきものと決定）



みふねの里保育園

### 議案第12号

#### 保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の改正

（内容）こども家庭センターの業務を保健福祉センターで一体的に処理するために改正するもの。

**問** 改正後の幼児こどもの相談室の実施体制について伺う。

**答** こども家庭センターの業務としてこれまでと同様に行う。

**問** 改正後のこども家庭センターの業務体制について伺う。

**答** 本庁舎と保健福祉センターで分かれています。本庁舎と保健福祉センターで分かれて行っている業務を、一か所に集約することで、市民にとってわかりやすくなるように、職員の連携が図られると考える。（全会一致で可決すべきものと決定）

## 建設経済常任委員会



鈴木高大委員長

審査案件（議案第3号、議案第7号、議案第19号から議案第21号）

### 議案第3号

#### 君津市勤労者総合福祉センター及び君津緩衝緑地（西君津）の指定管理者の指定

（内容）令和6年4月1日から3年間、公益財団法人体力づくり指導協会を指定管理者として指定しようとするもの。

**問** 今定例会での議案上程となった背景を伺う。

**答** 令和5年第4回定例会で、勤労者総合福祉センターの会議室などの名称を多目的室に変更する条例改正を行い、条例改正後に、指定管理者の選定にかかる審査を実施したものの、（全会一致で可決すべきものと決定）



君津市勤労者総合福祉センター

#### 議案第7号（補正予算） 橋梁長寿命化事業

**問** 旧小糸橋の撤去にかかるスケジュールを伺う。

**答** 当初、旧小糸橋の撤去は、令和5年度中に実施予定であったが、新設された橋梁への取り付け道路の整備に日数を要したことに加え、資材価格等の高騰により、増額補正と繰越しをするものである。令和6年度に旧小糸橋の撤去、令和7年度に新しい橋梁の護岸工事を実施し、旧小糸橋の架け替え事業がすべて完了する見込みである。（全会一致で可決すべきものと決定）

### 議案第19号

#### 都市公園条例の改正

（内容）内みのわ運動公園をはじめとする都市公園に、公券設置管理制度（Park PFI）を活用し、公園の利便性の向上等を図るもの。

**問** 内みのわ運動公園の今後の整備イメージを伺う。

**答** Park PFIを活用し、民間事業者により、カフェなど、飲食施設の設置が期待できる。また、収益施設の建築面積要件の緩和は、民間事業者の参画促進につながり、公園の質や利便性の向上が図られるものと考えている。（全会一致で可決すべきものと決定）



# 令和6年度

# 当初予算

3月6日の本会議において予算審査特別委員会が設置され、3月13日、14日、15日の3日間にわたり、10名の委員が令和6年度一般会計予算をはじめ各特別会計・企業会計予算の予算審査を行いました。

慎重審査の結果、議案第22号から議案第26号までのすべての議案が、それぞれ全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、13～14ページに掲載しています。

## 【予算審査特別委員名簿】

委員長＝保坂好一 副委員長＝松本裕次郎  
 委員＝林 祥子、小倉広紀、大和ヒロシ、  
 天笠 等、四宮安彦、鈴木高大、  
 石上 壘、高橋健治

### きみつ赤ちゃん 応援パック事業

2,407万2千円

紙おむつ等の配達及び相談支援により、子育て世帯の負担軽減を図るとともに、公民館事業や地域、企業などと連携した交流イベントを実施することにより、子育て世帯のコミュニティの輪を広げる。



### 令和6年度の 一般会計主要事業

#### きみつSDGs 教育推進事業

850万円

きみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラムを市内小中学校において継続して実施する。



### 中古住宅取得補助事業

3,261万2千円

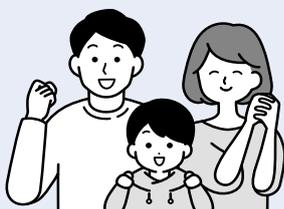
市内に中古住宅を取得した方に対し、補助金を交付する。



### 内房総アートフェス 連携おもてなし事業

150万円

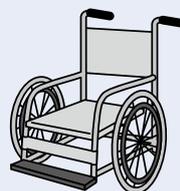
内房総アートフェスの開催に併せて、来訪者に対する市独自のおもてなしイベントを実施する。



### 君津駅周辺地区 バリアフリー事業

1,200万円

君津駅周辺地区において歩道の切り下げや透水性舗装を実施し、バリアフリー化を図る。



### 内みのわ運動公園 リニューアル事業

2,473万1千円

民間活力導入により公園のリニューアルを実施するため、公募設置等予定者選定委員会の開催や、プール等既存施設の解体設計を行う。



# 予算審査

## 特別委員会の概要

議案第22号

### 一般会計予算

**問** デジタル田園都市国家構想交付金を活用する事業について伺う。

**答** デジタル実装タイプとしては、市民からの問合せが多い行政手続きについて、市民がいつでも情報を得ることができるときの手続きナビゲーションシステムの導入に、地方創生推進タイプとしては、地域づくり協議会の設立準備や運営経費に対する交付金として活用するほか、清和地域における地域づくりの活動に関するセミナーや地域魅力発信マップの作成などの地域活性化の取組や清和地域拠点複合施設における環境整備などに活用していく。

**意見** 清和地区拠点複合施設に関しては、今後、様々な事業の展開が期待されることから、より多くの人に立ち寄ってもらい、実際に利用してもらえよう、効果的な周知に取り組みたい。

**問** ひとり暮らし老人等福祉タクシー事業に関し、令和6年度の事業実施方法について伺う。



坂好一委員長

**答** 収入や介護度等の要件を満たす対象者に最大1万8千円分の移動支援に係る金券を配付するもので、これまでに、用途がタクシーに限定されていた500円の券を、令和6年度はタクシー以外の公共交通機関でも使用できる1000円の券に変更して配付する予定であり、220名程度の利用を見込んでいます。



**問** 医療DX・デジタルヘルス推進事業に関し、事業概要及び普及の状況について伺う。

**答** 日々の健康や医療機関における血液検査の結果、マイナポータルから取得した特定健診の結果などの情報をアプリで確認できるもので、現在、市内の7つの医療機関と3つの薬局で導入済み、または導入の準備が進められており、令和6年度も引き続き、アプリの運営事業者と連携し、普及に向けた取組を進めていきたい。

**問** 地元採用促進事業及び地元で働く魅力発信事業に関し、補助制度の利用や地元での就職を促進するための効果的な周知方法等について伺う。

**答** 地元採用促進事業については、広報きみつ、ホームページ、SNS等により、補助制度の周知を図るとともに、商工会議所を通じて各会員への周知や、機会を捉えて事業内容を直接説明するなどしている。

また、地元で働く魅力発信事業についても、ホームページ等の周知に加え、市内の県立高校にパンフレットを直接配布するとともに、進路指導の先生に対して、今後の就職活動に役立てていただけるよう働きかけを行っているところである。いずれの事業についても、今後も、様々な機会を捉えて効果的なPRに努めていきたい。

**意見** 地元採用促進事業については、企業への直接的なアプローチを、また、地元で働く魅力発信事業についても、市外の高校に通う高校生へのフォローや将来を見据えた中で、中学生に対しても情報を発信するなど、創意工夫を行いながら、周知啓発に努め、地元での就職促進を図りたい。



**問** 森林環境整備事業及び災害に強い森づくり事業に関し、今後の事業の見通しについて伺う。

**答** 森林環境整備事業については、森林環境譲与税を活用し、倒木被害等を未然に防ぐための事前伐採を行うもので、来年度は、今年度に引き続き、2路線目である白駒地先の市道中島荻作線沿線の事前伐採を実施するもので、令和9年度の完了を予定している。

また、災害に強い森づくり事業についても、台風により倒木等の被害を受けた重要インフラ施設周辺の森林整備を行うもので、今後は、3路線目である系川地先の市道小糸久留里線沿線の森林整備を行う予定である。

**問** 内みのわ運動公園リニューアル事業に関し、今後の事業展開について伺う。

**答** 民間活力導入により、公園のリニューアルを実施しようとするもので、全体的なスケジュールについては、令和6年度にプールの解体設計を行うとともに、民間事業者の公募を行い、決定を目指していきたいと考えている。事業者決定後は、令和7年度を目途に、民間事業者から提案された計画にかかると設計を行い、令和8年度以降の整備着手を想定している。

**問** 令和6年度に実施する消防関係の施設・設備の改修予定について伺う。

**答** 消防庁舎の経年劣化に伴う汚水排水管の改修工事、2棟の消防団機庫の解体、かずさ水道広域連合企業団が実施する水道本管布設替えに伴う30基の消火栓の更新を予定しているほか、12基の消火栓及び3か所の防火水槽の修理を予定している。

**問** 教育に関するICT活用推進事業の新たな取組について伺う。

**答** 保護者の利便性の向上及び学校業務の効率化を図るため、学校から保護者への配布物のペーパーレス化や、学校への欠席連絡をデジタル化する保護者連携システムを導入する予定である。



**国民健康保険特別会計予算**

議案第23号

**問** 松丘診療所の今後のあり方について伺う。

**答** 松丘診療所については、医師の高齢化に伴い、将来的な安定運営の確保が課題となっているほか、地域人口の減少に伴い、患者数が減っており、施設運営にかかる財政負担も大きく

なっていることから、運営方法の見直しについては、喫緊の課題であると考えている。

令和2年度に指定管理者制度を導入した小櫃診療所は、地域住民等からの評判がよいことから、松丘診療所についても、将来にわたって安定した医療を提供していくために、適宜、医師などと協議

を行いなから指定管理者制度導入も視野に入れた検討を進めていきたい。



松丘診療所

**介護保険特別会計予算**

議案第24号

**問** 保険者努力支援交付金が増額となった背景について伺う。

**答** 当該交付金は、市町村が行う、介護予防・健康づくり等に資する取組に対し、達成状況に応じて国が交付するもので、具体的な評価項目は、データを活用した課題の把握、介護予防と保健事業の一体的な実施、地域包括支援センターの事業評価の達成状況等であり、国の評価方針、配点等は、年度によって変わる部分もあるが、本市の取

組が反映されたものと理解している。今後、多様なサービスの実施の観点から、各種支援の充実を図ってきたい。

議案第26号

**農業集落排水事業会計予算**

**問** 特別損失の内容やキャッシュフロー計算書の記載方法、減価償却の考え方について伺う。

**答** 本会計予算は、令和6年度から、地方公営企業法第2条第2項に規定する財務規定等を適用し、会計処理を特別会計から公営企業会計へ移行するものである。

特別損失については、令和5年度特別会計における事業活動に対する消費税を令和6年度中に支出するもので、本事由による特別損失は、初年度のみの上となること。

キャッシュフロー計算書の記載方法は、当該事業の予算規模等も考慮し、決定したものであること。

減価償却の内訳については、固定資産台帳を整備し、閲覧できるように体制を整えていく。

**意見** 公営企業会計への移行は、経営状況等の確な把握につながり、よい取組であると理解する。

**委員会討論**



**賛成**

●議案第22号

人口減少が課題となる中、持続可能なまちづくりのために、交流人口の増加や若い世代が住み続けたい、住んでみたいと思えるような転出抑制や転入促進等の対策が不可欠であり、限られた予算を効果的に活用し、総合計画を着実に推進するため、「子育て」「教育」「住まい」に重点を置いた予算編成がなされていると理解する。

また、費用をかけずに効果的な運用や、執行方法の工夫による事業費の縮減が図られている事業が多く見受けられたことは評価できる。

●議案第23号

今後も、特定健康診査における効果的な受診勧奨等の取組を通じて、被保険者の健康増進や医療費適正化の推進が図られることを望む。

●議案第26号

公営企業会計となり、収支等の状況が分かりやすくなったことで、今後の事業実施について、計画的な運用が行われることを期待する。

## 総務常任委員会

令和6年1月30日(火)～31日(水)

## 視察先

茨城県常陸太田市、茨城県常陸市

## 自動運転EVバスの実証実験について(常陸太田市)

■概要…バス運転手の担い手不足の解消や高齢者の外出時における移動支援、街のにぎわい創出を目的として、中山間地域や道の駅を拠点とする自動運転サービスの実証実験を行い、令和6年2月には、常陸太田市役所を運行拠点として商業施設を循環する自動運転車両の実装を開始した。

■視察を終えて…自動運転車両の導入により、公共交通衰退への対応やMaas及びeコマースの活用による買い物環境の充実など、様々な事業への展開が期待できると感じた。



自動運転 EVバス

## アグリサイエンスバレー構想について(常総市)

■概要…圏央道常総インターチェンジ周辺の45ヘクタールの土地を集約・大区画化することにより、生産・加工・流通・販売が一体となった産業団地が形成されている。常総市の新たな玄関口として、「食と農と健康」をテーマに農業の6次産業化を軸としたまちづくりに取り組んでいる。

■視察を終えて…市、事業協力者、地権者の三者が一体となって官民連携体制を構築することにより、厳しい規制により開発が困難とされている農用地が収益性に優れた農業へと転換された。さらに新たな産業の創出と地域のにぎわいが実現している。本市のインターチェンジ周辺の土地利用を検討する際にも参考となる手法であると考えた。

## 教育福祉常任委員会

令和6年1月22日(月)～23日(火)

## 視察先

ろりぽっぷ小学校、栃木県下野市

## 学びの多様化学校について(ろりぽっぷ小学校)

■概要…学びの多様化学校は、不登校児童生徒の実態に配慮し、特別な教育課程を編成して教育を実施することができるとしている。ろりぽっぷ小学校は仙台市で初となる学びの多様化学校として、令和5年4月に開校した。同校では、「明日また行きたくなくなる学校」を目指し、ドイツ発祥のイェナプラン教育のコンセプトを取り入れた教育などを行っている。

■視察を終えて…校舎内は教室と廊下の仕切りがなく子どもたちがのびのびと学習している雰囲気を感じた。通学に要する金銭的負担が大きいことや、卒業後の進路などの課題もあり、今後の事業展開を注視したい。

## 石橋複合施設について(下野市)

■概要…老朽化した公共施設の更新や駅周辺の活性化のため、病院跡の公有地に公民館と児童館を一体とした複合施設を建設。併せて敷地内にドラッグストアが立地し、余剰地の活用を行っている。

■視察を終えて…ドラッグストアが隣接することで、利便性が高く、市民が気軽に立ち寄ることができる施設になっている。また、以前の施設にはなかった音楽スタジオや学習スペースの設置など、利用者のニーズを踏まえた施設整備により利用者が増え、整備の効果が出ていると感じた。



石橋複合施設

## 建設経済常任委員会

令和6年1月29日(月)～30日(火)

## 視察先

香川県坂出市、岡山県倉敷市

①住宅支援(移住・定住促進)について  
②坂出ビジネスサポートセンターの取組について(坂出市)

■概要…①市内に新たに建築されたネット・ゼロ・エネルギーハウス「ZEH」を取得した方に対し、100万円を補助するなど、移住・定住の促進を図っている。

②経営上の課題を抱える中小企業や起業を志す人の課題解決(売上向上等)に向けた挑戦を伴走的に支援している。

■視察を終えて…住宅支援については、新築補助のほかに転入者等への家賃補助を実施しており、移住から定住につながる施策展開がなされていた。また、市の認知度向上・PRが重要だと改めて実感した。



坂出ビジネスサポートセンター (Saka-Biz)

## made in くらしき応援事業(経済循環活性化の取組)について(倉敷市)

■概要…小売店と倉敷市が協力して、市内のものづくり企業を応援するとともに、地産地消により、地域の中でお金が回る仕組みづくりを目指している。

■視察を終えて…コロナ禍において国の補助金を活用しスタートした事業であるが、現在は予算をかけずに事業を展開している。大型小売店・消費者等の意識改革につながる仕組みづくりは参考になった。



## 第44回君津なわとび大会

2月17日

令和6年2月17日に君津市民体育館で第44回君津なわとび大会が開催され、小倉靖幸議長が出席しました。

大会には小学生を中心に154名が参加、二重とびや親子とびなどの競技ごとに日頃の練習の成果を発揮し、大いに盛り上がりました。

## 久保保育園・上湯江保育園・常代保育園閉園式

3月に君津市立久保保育園（3月16日）、上湯江保育園（3月18日）、常代保育園（3月21日）の閉園式が開催され、小倉靖幸議長、高橋健治教育福祉常任委員長が出席しました。

閉園した3つの保育園を統合した、新たな子育て支援の拠点となる「みふねの里保育園」が開園しました。



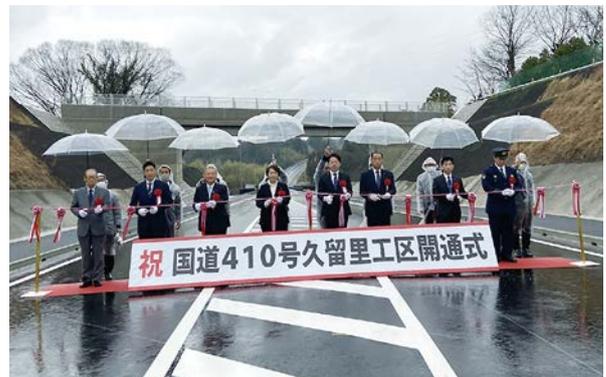
上湯江保育園

## 国道410号久留里工区開通式

3月25日

県が整備を進めてきた国道410号の君津市大坂から向郷までの延長3.5kmの工事が完了し、令和6年3月25日に国道410号久留里工区開通式が開催され、小倉靖幸議長をはじめ、関係市議会議員が出席しました。

今回の開通により、国道410号久留里馬来田バイパスは全線開通しました。



## 議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひ視聴ください。

**配信内容** 定例会及び臨時会の本会議

**注意** 速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

**アクセス方法** ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック

②左側に「本会議ライブ中継」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。

☆スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。通信費は利用者の負担になります。



令和6年 第2回定例会 5月31日（金） 開会予定です



### きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／高橋 明
- 副委員長／下田 剣吾
- 委員／高橋 健治
- 委員／鈴木 高大
- 委員／奈良輪 政五

- 発行／令和6年5月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会  
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>